

最近、野菜が高いですね。 えっ？そんなん知らないって？ ちょっとスーパーに行ってみた時に意識してみてください。「たったこれだけがこんな値段で…」と驚くことや、ハウス栽培などで年から年中、いろんな野菜があるので「この野菜が獲れる本当の季節（旬：しゅん）はいつだっけ？」とわからなくなります。

農業をしている友だちは、農薬や化学肥料など使わず、できるだけ自然のまま育てているそうです。

例えばキュウリは、虫食いの穴があったり、小さかったりくるりと曲がったりしますが、味は抜群に美味しいし、健康にも良いそうです。

しかし店頭に並ぶ野菜は、虫食いはもちろん、曲がったものや大きさが揃っていないキュウリは売れないため、農薬を使うことが多いらしいのです。確かに大きく形もよく立派！これでいいのかな？



まず身近な「食べること」から環境問題を考えてみませんか！ そのためにも、自分でナスを育て、その生育を知ることが大切です。

葉の形や花の色、どんなふうになすがなるのか知っていますか？ 店に並んでいるのはナス（実）だけですから、知らない人も多いでしょう。

さて、どんなナスができるのでしょうか？ 味はどうか？ 楽しみです！

*また、ナスに関する諺（ことわざ）があるということは、それだけナスは昔から人々の身近な植物であり、野菜だったということです。こんな諺を知っていますか？

- ・ ナスの花と、（ ）には無駄がない。
- ・ （ ）ナス（茄子）は、嫁に食わずな。（意味が2つあるという説あり）
- ・ おたんこなす！（これはちがうか…）

まずは苗を植えますが、そのあと毎日のように世話をしなければなりません。

生き物ですから当たり前ですね！毎日の水やりを、みんなで分担しますので、責任持ってやりましょう！（当番表を出しますので、よろしくお願いします！）

技術係は、水やり当番の人のチェック！当番に声をかけて忘れないようにしましょう！

*毎日必ず観察しよう！変化に気づいたら記録しておこう！

*ナスの栽培 観察記録（生徒の記録用ワークシート）

月 日	作業・ナスの変化など	気づき

ナスの栽培・・・植え付け・・・

ナスの苗を植えよう！

準備物

9号鉢 鉢底 支柱

ビニタイ じょうろ

花と野菜の土（根腐れ防止剤入り）

園芸用軽石（ひゅうが土）

鹿沼土より硬く、軽石よりやわらかい。

単粒だが、穴が空いているため、

団粒構造の働きがある。

植物に最適なほぼ中性（微酸性：PH6）

発酵油かす（魚粉・米ぬか入り）

チッソ（生長促進）・4

リン酸（開花・結実）・6

カリ（病害虫への抵抗力）・1

+微量元素（人間で言うビタミンみたいなものかな）

*元肥（もとひ）として、根に当たらない場所へ5～6粒

*追肥（つひひ）として、1ヶ月に1回、鉢の端に3～4粒



オルトラン粒剤

防虫剤：アブラムシ類、アザミウマ、オンシツコナシラミなど

定植時～収穫前日 植え付け時に、植える穴に少量散布。全部で3回まで。 1株あたり、1～2グラム

① まず、土を準備します。

“作物作り”は“土作り”から！ ふつう、黒土7・腐葉土3の割合で混ぜ合わせます。今回は、どこでも手に入りやすい「花と野菜の土」を使います。これには適度の栄養分と、作物に大敵な「根腐れ」を防止する成分も入っています。

② ゴロ土を鉢の下から5センチ（鉢の4分の1～3分の1）くらい入れます。

これは、水はけを良くするためです。

③ 「花と野菜の土」を、鉢の8割程度、押し付けずに入れます。

④ 肥料を入れます。鉢の端っこに埋めておきます。

このように最初に入れておく肥料を元肥といいます。（じわじわ効きます！）

⑤ 肥料が直接、根に触れないように、真ん中の土を掘っておきます。

⑥ 穴の底に、防虫のために「オルトラン」をパラパラとまきます。（少なくてよい！）

⑦ 苗をポットから土を崩さないように出し、掘った穴に置きます。

⑧ 苗をまっすぐに立てて、苗の土の高さまで周りに土を入れます。

⑨ トントンと軽く鉢をゆすって、土を詰めます。

きっと土の量が減るので、少し「花と野菜の土」を入れて、補います。

⑩ 苗の周りを軽く押さえて、少し中高にします。

⑪ 苗はまだしっかりしていませんから、支柱を立てます。

苗から2センチくらい離れたところに割り箸をぐっとさしこみ、茎の真ん中あたりにかかるくビニタイ（3センチくらいのわっか）で結びます。

⑫ じょうろで水を少しずつかけて（優しく！）、下の穴から水が出るまでタップリやります。

苗を植えてから1ヶ月め！なかなか順調です！

途中、葉っぱに穴があいているナスがありました。ガーン！

犯人はナメクジです！ナメクジはたちが悪く、夜な夜な出てきてやわらかい美味しい葉っぱを食べるのです。明るい間は土の中や鉢底に隠れていて見つかりにくいのです。通った後に白—いスジがつくので、分かります。

そこで、ナメクジ駆除剤（商品名：キングナメトリン 薬剤名：メタアルデヒド）をまきました。ピンク色の粒に気づいた人もいるでしょう！（注：食べてはいけません！）

参考…ナメクジを駆除するには、バナナとビール！家でナメクジの被害にあってる人がいたら試してみてください！

ナメクジが活動する夜、バナナの皮やビールを少し容器に入れて置いておきます。深夜にそーっと見ると、来てます来てます！バナナの皮にへばりついているナメクジ、容器のビールをたらふく飲んでぷっくりふくらんで酔っぱらっているナメクジが見つかります。薬剤を使わなくても、簡単に駆除できるのです！ほんとだよ！

このように植物を育てるには、水やりはもちろん、しっかり観察することが大切です。どんどん育ち、可愛い紫色の花をつけました。不思議なもので、花も茎もナス色なんです！多少、生育に差はありますが、葉っぱも茎も、元気です。

ナスの花が咲いたあ！

ちっこい苗だったのがぐんぐん伸びて大きくなっています。修学旅行から帰ってくると、早い苗は花のつぼみができていました。

ナスは順調に茎も太くなり（なんと茎や葉の葉脈までもナス色なんです！）、葉も大きく元気そうです。

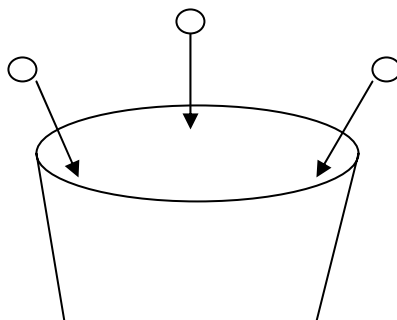
実は、みんなのナスは2種類あるのを気づいていましたか？葉っぱが大きく横に広がっているのが、「黒光り博多長」、こぢんまりして小さいのに花をつけているのが、「新長崎長茄子」という品種です。どちらも長ナスの品種なので、20cm～30cm（うまく育てると40cmにもなります！）の細身で長いナスができます。楽しみですね！

ナスらしくきれいなナス色の花（おしべとめしべは黄色）が咲いています。

早いナスは、もうナスの実のちびいのができかかっています。ナスは乾燥が苦手なので、午前中の水やりを忘れずにやりましょう！



- ① 2週間に一度、肥料をやります。(追加するので、追肥といいます。)元肥と同じように、発酵油かすの粒を3個、鉢の端っこに埋めましょう。表面に置いてあるより埋めた方が、確実に
- ② 長く効き目があります。



- ③ しっかり観察をする。これは、栽培の基本です。よく見ていると変化が分かり、すぐに対応できます。

この時期、虫が付きやすいので、注意してみましよう。

花や新しい葉っぱにびっしりアブラムシが付いていたり、青虫系(去年はソーセージのようにでっかいスズメガの幼虫にやられました。)が葉っぱをむしゃむしゃ食べたりします。ナメクジやヨトウムシ、バッタやテントウムシダマシも要注意です!特にナメクジやヨトウムシは、昼間は土の中や鉢の下に隠れていて夜活動するため見つかりにくいので、要注意です。無農薬で育てたいのですが、どうしてもダメな時は、害の少ない殺虫剤を使います。

- ④ わき芽かき

花が咲いて少ししたら、葉の付け根から出てくるわき芽をつみ取ります。

一番花の下の2つまでのわき芽を残し、それから下のわき芽は切り取ります。

無理に引っ張って取ると痛むので、はさみで切り取ります。

そのままにしておくと、ひよろひよろと伸び放題に伸びてしまい、ちゃんとした実がつかないからです。

これからも出てくるので、気づいたら取りましよう。

- ⑤ 支柱立て

ずいぶん大きくなってきましたので、支柱を立てて倒れないようにしましょう!支柱を鉢の奥までしっかり差し込んで、ビニタイで8の字に固定します。ビニタイであまりきつく固定すると、茎がキズつきますからやさしく固定してください。



いよいよ収穫です！

No4

無農薬で育てているため、いろんな虫がきました。

今年、ナスの葉を食べに来た虫たち…おいしそうに食べてくれます(*_*)

テントウムシダマシ

ウリハムシ

ショウリヨウバッタ



そろそろ収穫です。20センチ以上になったらいねいにハサミ（手でちぎると、茎が痛んだり折れたりしますので注意！）で切って、持って帰りましょう！

「ナスの花には無駄がない」…と言われるほど次々と花が咲き、ナスになっていきます。あまり大きくなったナスをそのままにしておくと、次のナスに栄養が行かなくなり、育ちが悪くなります。



・ ・ ・ 自分で作ったナスは美味しいですよ！ ・ ・ ・
ナスの栽培 うまい秋ナス目指せ！

No5

夏休みには、部活に来た人が中心になって水やりをしてくれ、みんなのナスは元気です。また、家の近い人で毎日のように水をやりに来てくれた人もいました。ほんとにありがとう。

今年は去年のようにスズメガの幼虫（巨大アオムシ）が全く付かず、被害としては、「テントウムシダマシ（ニジュウヤホシテントウ）」「ウリハムシ」「ショウリョウバッタ」「アブラムシ」で、葉っぱが網目状になったり少し穴だらけになったりしたナスもありましたが、なんとか殺虫剤を使わなくてセーフでした。

虫を早めに発見して報告してくれた人もいて、駆除（捕殺＝薬を使わないので BEST!）できたのも大きいです。

追肥は 2 週間に一度（8月上旬とお盆明け）、発酵油粕を3個ずつやりました。有機肥料なのでちょっと匂いがキツかったのですが…。

収穫したナスは仕方なく職員室に置いて、先生方を持って帰ってもらいました。

もちろんみんなで育てた正真正銘の“無農薬・有機栽培”のナスです！ちょっと色が悪いものもありましたが、これが大人気！



「すごくおいしい！」 「ナスの甘みがする！」 「店で買ったものとはぜんぜん違う。」
「これを食べたらもう買ったナスは食べれんね。」 「焼きナスにしたよ！」 「マーボナス
が最高においしい！」… たくさんのうれしい言葉をもらいました。

ナス色にならなかつたり、曲がったり、虫の食べた跡があつたり…でも本来のナスのおい
しい味があつたのです。やっぱり自分で育てるのって、大変なこともあるけど楽しいです。
身体にいい安心のナスだしね！

さてもう一勝負です！おいしい秋茄子にチャレンジです。
実はこれまでなかなかうまくいっていません(*_*)ど
んどん実がなるのでタイミングを逸するのです。

更新剪定（こうしんせんてい）という作業です。
古い枝を切り落として、若い芽を伸ばして全体をリフ
レッシュさせるのです。

このリフレッシュした若い枝からみずみずしいナ
スがとれるから、秋茄子はおいしいのです。だいたい
枝の根元から葉を3枚程度残して切るのです。（シロ
ウトにはとても勇気がいる！）

あとは、暑い夏ほどではありませんが、土が乾かな
いように水やりをきちんとして、大切にあげたい
ですね。

味の深い秋茄子ができました！⇒

